

【 記入例 】 1-1 個人による学術研究目的の申出の場合

様式第1-1号 (提供依頼申出書・学術研究) 厚労匿第2版

匿名データの提供依頼申出書 (学術研究目的関係)

申出書提出日を記入

平成 24年 7月 20日

(最終更新日:平成 年 月 日)

厚生労働大臣 殿

新規申出時には使用しません。(記載事項変更申出書の提出時に使用します。)

【 提供依頼申出者 】

(提供依頼申出者が法人その他の団体の場合は、本欄に記入してください。)

法人その他の団体の名称	個人が提供依頼申出をする場合は、記入しません。
(所在地)	
(電話)	

(個人の場合は、申出者本人について記入してください。
法人その他の団体の場合は、代表者又は管理人について記入してください。)

所属、職名	A大学 B学部 C学科 教授	捺印又は署名をしてください。
ふりがな氏名	こうせい たろう 厚生 太郎	1960年〇月〇日
自宅(住所)	〒000-0000 東京都〇〇区〇〇町1-2-3	〒100-8916 東京都千代田区霞が関〇-〇 A大学B学部C学科 第3研究室
(電話)	03-0000-0000	(電話) 03-0000-0000 内線〇〇
(E-mail)	〇〇〇@〇〇〇	(E-mail) 〇〇〇@.〇〇.ac.jp

平日の日中に連絡が取れる場所を記入してください。

代表及び内線番号を記入してください。

【 代理人 】 (代理人に委任する場合は、本欄に記入してください)

所属、職名	代理人に委任する場合のみ記入 (別途委任状が必要)		
ふりがな氏名			
自宅(住所)	〒	連絡先(所在地)	〒
(電話)		(電話)	
(E-mail)		(E-mail)	

上記連絡先のEメールアドレスを記入してください。

統計法第36条の規定に基づき、下記のとおり申出をします。

1 匿名データの名称及び年次等並びにファイル数	名称	年次等	ファイル数
	〇〇調査 データA	平成〇年	1
	〇〇調査 データB	平成△年	2
2 匿名データの利用目的等	(1) 直接の利用目的		
「実施期間」は、研究計画全体の期間を記入してください。	<input type="checkbox"/> ① 学術研究の名称及び実施期間 若年層の就業状況に関する研究（平成24年11月～平成26年1月）		
「学術研究」の内容、匿名データを利用する目的、具体的な匿名データの利用方法を記入してください。	<input type="checkbox"/> ② 学術研究の目的、必要性 1990年代のバブル崩壊後、わが国では、パート、アルバイトや派遣社員の増加にみられるように就業形態の非正規化が進行している。特に若年層においては非正規の就業者とともに無業者も増大しており、これら若年層に対する雇用対策は喫緊の課題となっている。若年層の就業状況は、若年者がおかれた社会経済的環境によって多様な様相を呈していることから、匿名データを用いて実証的に把握することが必要である。		
匿名データを利用して行う分析内容を記入してください。作成を予定している統計表名がありましたら、記入してください。	<input type="checkbox"/> ③ 学術研究の内容、匿名データを利用する必要性及び利用方法 本研究では、若年労働市場に焦点を当て、若年層の雇用状況と就業形態の動向を明らかにし、若年の就業における将来的な方向性を見出すため、④に示す実証分析を行う。 また、本研究に先だっては、既に報告書で公表されている統計表を基に分析を行ったところであるが、報告書に掲載されていない変数を組み替えた統計表の作成や回帰分析を行うためには、匿名データの利用が必要となる。		
	<input type="checkbox"/> ④ 匿名データから作成する統計又は統計的研究の内容 【分析1】 社会経済的属性によって、若年層の類型化を行った統計表を作成することにより、若年層の雇用状況と就業形態に関する基本的な特徴を分析する。 【分析2】 性別、年齢、学歴といった個人の社会的属性や、継続就業年数や従業者規模等の就業に関する属性を説明変数とした回帰分析を試みることにより、若年者の就業行動に影響を及ぼす社会経済的要因を明らかにする。		

<p>申出時において公表を予定しているもの全てについて記入してください。</p> <p>申出から匿名データの受領まで1か月程度の期間を見込んでください。</p>	<p>(2) その他の利用目的</p> <p>① 該当なし</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>※ (1) 及び (3) に記載した利用目的以外のすべての利用目的を記入してください。</p> <p>(3) 成果の公表予定及び方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 論文 (方法: ○○大学□学部研究紀要 時期 平成25年10月)</p> <p><input type="checkbox"/> 報告書 (方法: 時期 年 月)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学会・研究会等で発表 (学会、研究会等の名称: 2013年日本○○学会大会 時期 平成25年10月 日本□□学会 時期 平成25年12月)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学会誌等に掲載 (学会誌等の名称: 日本○○学会誌 時期 平成25年10月)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 具体的な公表方法: 海外ジャーナル○○○○へ投稿予定</p> <p>時期 平成25年12月</p>
<p>3 匿名データの提供希望年月日及び理由</p>	<p>(年月日) 平成24年9月 1 日</p> <p>(理由) 学会等における発表報告等に必要分析期間を確保するため</p>
<p>4 匿名データの利用場所、保管場所、利用環境及び管理方法</p> <p>複数箇所で利用する場合は、すべての利用場所を記載してください。</p>	<p>(利用場所) A 大学 B 学部 C 学科 第 3 研究室 (D キャンパス 第 1 号館 第 E 号室)</p> <p>(保管場所) 同研究室内の施錠可能なキャビネット</p> <p>(利用場所と保管場所が異なる場合は、その理由) なし</p> <p>(利用場所) F 大学 G 学部 H 学科 第 1 研究室 (I キャンパス 第 J 棟 第 K 号室)</p> <p>(保管場所) 同研究室内の施錠可能なキャビネット</p> <p>(利用場所と保管場所が異なる場合は、その理由) なし</p>

(利用環境、管理方法)

- 匿名データの利用場所（匿名データファイルの保管を含む。）は、匿名データが持ち出されないように施錠可能な物理的な場所に限定される。
- 匿名データは、利用場所から取り外し可能な外部記憶装置等に転送される等により持ち出されない。
- 匿名データは、限定された媒体に格納され、施錠可能なキャビネット等で保管される。
- 匿名データの利用時は、利用場所に存在する者が制限される、又は何らかの確認行為が行われる。
- 匿名データの利用時のコンピュータの環境は、インターネット等の外部ネットワークに接続した状態としない。
- 匿名データを利用するコンピュータに、コンピュータウイルス対策、セキュリティホール対策、ID・パスワード認証対策、スクリーンロック等の不正操作対策の全てが図られている。
- 外部ネットワークに接続する可能性のあるコンピュータや利用者以外の者が利用するコンピュータに匿名データ及び中間生成物を残留させない措置をとる。また、利用者以外の者が匿名データ及び中間生成物を保管しているコンピュータにアクセスできないように制御された環境である。
- 提供される匿名データに加え、集計作業等によって生成される匿名データを含む中間生成物及び廃棄物についても、漏洩等事故を防止するために適正な管理を図る。

(次の項目は集計処理、保管等を外部委託する場合のみ、該当するかチェックしてください。)

- 外部委託先においても本欄の全ての要件を満たすことを委託契約書において取り決めるとともに、委託業者に対し申出者から適切な指導を行うこと。

※1 該当するものすべてについて、を選択してください。

※2 利用場所及び保管場所が2か所以上の場合は、本欄を別紙として各場所についてチェックしてください。

ホストコンピュータ、サーバ接続、利用時にインターネット接続を常時必要とする統計解析ソフトウェアは使用できません。

匿名データの利用終了日を記載します。

5 匿名データの利用期間

平成26年1月30日まで

※1 必要最低限の期間としてください。

※2 利用期間終了日は厚生労働省が提供媒体の返却を受ける期限の日になります。

6 匿名データを取扱う者

※1 提供依頼申出者及び利用者、委託する場合の委託先、その他取扱者の区分が明確に分かるように所属・職名等の欄に記載してください。

※2 集計等の民間委託を行う場合はその旨及び委託先で匿名データを扱う者の氏名、所属等を記載してください。

※3 利用者が多い場合は、別紙にしてください。

氏名	所属・職名	利用場所	ファイル数	利用するコンピュータ
厚生 太郎	A大学B学部 C学科 教授	A大学B学部 C学科 第3研究室	1	機器管理番号〇〇
労働 花子	F大学G学部 H学科 准教授	F大学G学部 H学科 第1研究室	1	備品番号□□□
統計 次郎	F大学G学部 H学科 常勤講師	同上	1	備品番号□□□

利用するコンピュータを物理的に特定できる管理番号等を記入してください。

	ファイル数計： 3 枚
<p>7 現に提供を受け、又は今後提供を依頼する予定がある調査票情報及び他の匿名データ</p> <p>※ 他府省等所管のものを含み、かつ利用期間が本申出に係るものと重なるものについて記載してください。</p>	<p>(現に提供を受けている調査票情報及び他の匿名データ)</p> <p>平成〇年〇〇実態調査 (〇〇省、調査票情報)</p> <p>(今後提供を依頼する予定の調査票情報及び他の匿名データ)</p> <p>平成□年□基本調査 (□□省、匿名データ)</p>
<p>8 匿名データの提供の方法等</p> <p>※ 希望する□を選択してください。</p>	<p>(1) 提供の方法 (媒体)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> DVD-R</p> <p>(2) 送付の希望の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 送付を希望 <input checked="" type="checkbox"/> 直接受取りを希望</p>
<p>9 過去の提供履歴</p> <p>※ 該当する□を選択してください。</p>	<p>(1) 過去に厚生労働省から「委託による統計の作成等」又は「匿名データ」の提供を受けたことがありますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>(2) 過去に他府省又は統計センターから「委託による統計の作成等」又は「匿名データ」の提供を受けたことがありますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない</p> <p style="margin-left: 40px;">〔 ある場合は、府省名等と統計調査の名称を記入してください。〕</p> <p style="margin-left: 40px;">平成△年△実態調査 (△△省、匿名データ)</p> <p>(3) 統計法令に基づく罰則又は契約違反等により提供禁止措置を受けたことがありますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 現在受けている <input type="checkbox"/> 過去に受けたことがある</p>

<p>10 匿名データの利用 場所が日本国外である場合</p> <p>※ 該当する□を選択してください。</p>	<p>(提供要件)</p> <p><input type="checkbox"/> 二以上の外国政府等から調査票情報等の提供を受け、かつ日本の公的機関若しくは一以上の外国政府等から職員の派遣、資金の提供等の支援を受けており、かつ上記提供及び支援を直近5年間継続して受けている</p> <p>[調査票情報等の提供を受けた外国政府の名称、調査票情報等の名称・内容、支援を受けた日本の公的機関又は外国政府等の名称、提供を受けた支援の内容を記載してください。]</p> <p><input type="checkbox"/> 日本政府の職員が提供依頼申出者の属する機関に出向しており、匿名データの利用状況の確認を依頼することが可能である。</p> <p>[当該職員の氏名・所属、出向元の所属機関の名称を記載の上、当該職員の承諾書を添付してください。]</p> <p><input type="checkbox"/> 提供依頼申出者又は代理人（利用者の範囲に含まれている者に限る。）が、匿名データの利用期間中に厚生労働省へ来訪し、厚生労働省が行う利用状況等に係る日本語によるヒアリングに対応可能である。</p> <p>[訪問可能時期（提供開始日から1年以内に限る）]</p>
<p>11 その他必要な事項</p> <p>※ 利用目的の公益性を裏付ける書類を記入し、その写しを添付してください。</p>	<p><別添></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>利用場所及び保存場所レイアウト図</u> ・ <u>業績一覧</u> ・ <u>推薦状、紹介状</u> <p><申出者以外の匿名データの保管責任者></p> <p>(氏名) 労働 花子</p> <p>(自宅) 〒000-0000 L県O市P3-2-1</p> <p>△マンション〇〇号室</p> <p>電話 0000-000-0000</p> <p>E-mail : 〇〇@〇〇.〇〇.jp</p> <p>(連絡先) 〒000-0000 L県M市N1-2-3</p> <p>F 大学G学部H学科第1研究室</p> <p>(I キャンパス第 J 棟第 K 号室)</p> <p>代表電話 0000-000-0000 内線</p> <p>E-mail : 〇〇@〇〇.ac.jp</p>

利用場所、保管場所、データの管理方法等が分かる書類を添付します。

大学院生等が個人で申出を行う場合、原則、指導教授や大学・学会からの推薦状等を添付します。

申出者以外に匿名データの保管責任者がいる場合は、名前、自宅住所及び連絡先を記入してください。

備考

- 1 記載内容が多くなる場合には、必要に応じて、様式には簡潔にその概要及び「詳細は別添〇参照」の旨を記載するとともに、詳細を記載した資料を添付して差し支えありません。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。

匿名データの利用に当たって

統計法第36条に基づき匿名データの提供を受けた場合は、提供依頼申出者、代理人及び利用者は次の事項について遵守する必要があります。

- 1 様式第5号の別添「匿名データ提供の約款」に同意すること。
- 2 提供された匿名データは、提供依頼申出書に記載した目的以外に利用しないこと。
- 3 提供された匿名データは、第三者に提供しないこと。
- 4 提供された匿名データは、他に漏れないよう厳重に管理すること。
- 5 提供された匿名データは、不適切利用を行わないこと。
万が一遵守できなかった場合は、厚生労働省が科す提供禁止措置に合意すること。
- 6 提供された匿名データは、利用期間終了日までに厚生労働省へ返却すること。
- 7 提供された匿名データにより作成した統計等は、公表すること。
公表しなかったものは、中間生成物として消去すること。
- 8 成果の公表に際しては、①、②を遵守すること。
 - ① 統計法第36条に基づき、厚生労働省から匿名データの提供を受けた旨を明記
 - ② 匿名データを基に提供依頼申出者又は利用者が独自に作成・加工した統計等であり、厚生労働省が作成・公表している統計等とは異なる旨を明記
- 9 提供された匿名データは、次のような利用を行わないこと。
 - ① 特定の個人や事業所等の識別を試みようとする利用
 - ② 他の調査票情報、匿名データ又はその他個体識別が可能となり得るデータとのリンケージによる利用
 - ③ 個別データに着目した利用等
 - ④ その他、厚生労働省が禁止する利用
- 10 匿名データによって作成した統計についての所有権、意匠権、著作権、著作人格権を行使しないこと。
- 11 その他匿名データの利用に際しては、厚生労働省の指示に従うこと。